#### 国際調査報告

### A. 発明の属する分野の分類(国際特許分類(IPC))

Int. Cl' H03H9/24, B81B3/00, B81C1/00

#### B. 調査を行った分野

調査を行った最小限資料(国際特許分類(IPC))

Int. Cl7 H03H9/24, B81B3/00, B81C1/00

最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの

日本国実用新案公報

2 32

1922-1996年

日本国公開実用新案公報

1971-2004年

日本国登録実用新案公報

1994-2004年

日本国実用新案登録公報

1996-2004年

国際調査で使用した電子データベース(データベースの名称、調査に使用した用語)

JOIS on the web

C. 関連すると認められる文献			
引用文献の		関連する	
カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	請求の範囲の番号	
X	JP 2002-535865 A (ザ リージェンツ オブ	1, 2, 4, 5, 7-	
	ザ ユニバーシティ オブ ミシガン)2002.10.22,全	10, 12, 13	
	頁、全図&WO 00/42705 A1&CA 2360405		
Y	A&AU 2413400 A&US 6249073 B1&	3, 6, 11	
	NO 20013502 A&EP 1142110 A&US		
	2001-0030489 A&US 2001-0031025		
	A&US 2001-0033119 A&US 2001-0		
	033121 A&WO 01/082467 A2&WO 01		
	/082475 A2&WO 01/082476 A2&WO		
	01/082477 A2&WO 01/082478 A2&W		
1			

## 区欄の続きにも文献が列挙されている。

- \* 引用文献のカテゴリー
- 「A」特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示す もの
- 「E」国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日 以後に公表されたもの
- 「L」優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行 日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する 文献(理由を付す)
- 「〇」口頭による開示、使用、展示等に言及する文献
- 「P」国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願

- の日の後に公表された文献
- 「T」国際出願日又は優先日後に公表された文献であって 出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論 の理解のために引用するもの
- 「X」特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明 の新規性又は進歩性がないと考えられるもの
- 「Y」特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以 上の文献との、当業者にとって自明である組合せに よって進歩性がないと考えられるもの
- 「&」同一パテントファミリー文献

# 国際調査報告

C(続き).	x). 関連すると認められる文献		
引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する請求の範囲の番号	
	O 01/082479 A2&CA 2406176 A&CA 2406223 A2&CA 240518 A&CA 240 6543 A&AU 5586501 A&AU 5586601 A&AU 5586701 A&AU 5586801 A&A U 5761201 A&AU 6103601 A&US 20 02-0021054 A1&US 2002-0041220 A1&CN 1345480 T&EP 1275201 A&E P 1277277 A&EP 1285491 A&EP 12 90788 A&US 2003-0184413 A1&JP 2003-532320 A&JP 2003-532322 A&JP 2003-532323		
Y	JP 51-81588 A (東洋通信機株式会社) 1976. 07.16,第1頁左下欄19行~同頁右下欄第15行,第1図 (ファミリーなし)	3, 6, 11	
A	US 6437965 B1 (Harris Corporation) 2002. 08. 20&WO 02/43089 A2&AU 3936202 A	1-13	